

2020 年度第 5 回価格審査会の開催について

2020 年度第 5 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2020 年 8 月 13 日(木) ～17 日 (月)		
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした		
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長	
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長	
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長	
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長	
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己	
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一	
	監査審査室	室長：後藤 裕	
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博	

2020 年度第 4 価格審査会議事録(案) 確認

2020 年度第 5 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」9月号、「Web 建設物価」9月号の価格動向
・	<p>価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】月積み契約分鉄鋼販売価格 鋼矢板(全都市)、伸銅品(全都市)、レディーミクストコンクリート（むつA、むつB、目黒・世田谷、八王子、立川、武蔵野、府中、調布、新潟、恵那、中津川、新温泉、米子、大山、日田）、コンクリート用骨材【砕石】（長門、日南）、コンクリート用骨材【砂】（福岡、大野城、宗像、糸島）、道路用砕石【全規格】（都城A、B）、再生砕石類（都城A、B、延岡A、B、C）、ストレートアスファルト（那覇）、コンクリート積みブロック【滑面】（仙台、福島、水戸、前橋、さいたま、東京、横浜、甲府、岐阜静岡、浜松、名古屋、津、福井、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島）、コンクリート積みブロック【粗面】（長野、岐阜）、丁番金物（全都市）、扉金物（全都市）、引戸用金物（全都市）スレートボード（全都市）、電線（全都市）、燃料油【軽油ローリー渡し】（全都市）、銅スクラップ(全都市)など</p>

- ・ 価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】（14 帯 1.2%、公表を除く帯数）

一般構造用角形鋼管（東京）、線材製品（関東）、鉄筋金網（東北、関東）、一般建築用木材【杉、ホワイトウッド】（中国の各都市）、一般建築用木材【米松】（近畿、中国、四国の各都市）、コンクリート型枠用合板（全都市）、アスファルト混合物（富山、高岡、魚津、氷見、黒部、砺波、小矢部、四日市、京都A、京都B、宇治、亀岡、南丹、木津川、大阪、堺、茨木、泉佐野、東大阪、豊能、神戸、明石、西宮、川西、三田、奈良、五條、宇陀、御杖、天川、十津川、上北山、川上、和歌山、橋本、有田、岩出、紀美野、大分）、普通合板（東北、関東、近畿、中国の各都市）、鉄スクラップ（東北、関東を除く各都市）など

2. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	レディーミクストコンクリート（目黒・世田谷）の上伸した背景として「大型土木物件の発注」とあるが、具体的にはどのような物件か。また、この影響により建築物件も一律の値上げとなっているのか。	大型土木物件は9万5千 m3 の和田堀給水所などで、建築も用賀1丁目計画や青葉台1丁目計画など6千 m3 規模の物件がある。協組は建築物件についても同様に値上げを進めており、全規格で一律300円上伸した。
審議 2	レディーミクストコンクリート（那覇）の説明で「建築物件の減少や戸建て住宅の木造化の影響で出荷量が前年同期比12.5%減少」とあるが、木造化が進行している理由やその影響度はどの程度なのか。	国交省の建築着工統計調査では、沖縄県の木造床面積が2016年度92,405m ² が2019年度190,661m ² と2倍以上の水準となっており、ここ数年増加傾向が続いている。この主な要因としては、若年層を中心に低コストで耐台風性能も高い木造住宅の志向が強まっており、木造住宅メーカーの沖縄県内への進出が進んでいることなどが挙げられる。この木造化の進行が生コン需要減少の一つの要因と言われている。
審議 3	H形鋼で「6月に表明されたメーカー各社の値上げを受け、流通各社は採算悪化を回避するため売り腰を強めている」とあるが、問屋は既にメーカーの値上げを受け入れた上での在庫を抱えているということか。	メーカーは、値上げによる販売量の減少も止む無しとの姿勢で値上げした。一方、流通各社はメーカーの値上げをある程度受け入れたうえで、採算低下を抑えるため仕入れ量を減らしている。

審議 4	レディーミクストコンクリートで「工事の遅れを避けたい需要家は値上げに理解を示しつつあり、販売店との交渉に進展の兆しが見られる」とあるが、需要家への調査において、値上げ受け入れを示す回答が多数であったということなのか。	販売店及び需要家への調査において、現時点では、横ばいとの回答が大勢だが、一部に値上げを受け入れた若しくは今後の値上げは止む無しとの回答もあり、先行き強含みとした。
審議 5	一般建築用木材の価格は、昨年秋の消費税 10%及び新型コロナウイルスの影響が重なり、住宅着工の落込みによる需要減少のための値下がりと思われるが、7月の豪雨災害等を含め、今後はどうなると予想しているか。	現時点で 7 月の豪雨災害による価格への影響は見られない。目先、価格は横ばいに推移するものとみられ、今後の動向については建築需要等に大きく影響を受けるため注視しているところである。
審議 6	レディーミクストコンクリートの価格は、全国的に前月比が変わらない中で、最低価格である新潟地区が 500 円上昇して 10,000 円となり、先行き横ばいとの予測をしているが、員外社の占める割合が協同組合を上回っているという地域特性を考慮すると、今後さらに上昇する可能性はないのか。	協組と員外社は、現在の価格では十分な採算を確保できないとしている。しかし、協組の更なる値上げに対する需要家の抵抗は強く、先行き横ばいとしている。
審議 7	コンクリート型枠用合板の下落原因として、「需要減少で流通筋による値下げの動きが広がり」→「販売店間の受注競争が激化し、下落」とコメントされているが、【質問 1】同様の状況は「一般建築用木材」にも当てはまるか。【質問 2】両資材とも木材資材であるが、下落要因として、原材料である木材価格自体の下落という要素はないか。それよりも輸入仲介商社等の供給価格戦術の影響の方が大きいのか。	【回答 1】「一般建築用木材」についても当てはまる。【回答 2】「コンクリート型枠合板」、「一般建築用木材」ともに原木価格が製品価格に与える影響は限定的である。下落要因としては、建築需要の落ち込みとそれに伴う資材の需要が減少するなか、売上確保を優先した流通筋の販売方針による影響が大きい。
審議 8	「伸銅品」「電線」「非鉄スクラップ」の上伸理由として、国際的な銅材料価格の上伸とのコメントがなされている。この銅材料価格の最近の上伸理由は、何が想定されるか。	現在の国際銅相場伸は、中国の経済活動再開に対する期待感と、新型コロナウイルスの影響によるチリの銅鉱石供給不安の高まりに、投機筋が反応したためと言われている。
審議結果	「建設物価」9月号、「Web 建設物価」	9月号の価格動向に問題はなかった。